製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

会 社 名　武 藤 化 学 株 式 会 社
住 所　〒113-0033 東京都文京区本郷２－１０－７
担当部門　学 術 課
電話番号　03-3814-5511　ＦＡＸ　03-3815-4832
緊急連絡先　学術課 TEL 03-3814-5511

ＭＳＤＳ番号　　改訂・作成 2017年7月19日

製 品 名　ブラウンホップス法7液

危険有害性の分類

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分2

健康に対する有害性

皮膚腐食性及び刺激性:区分2

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性:区分2

発ガン性:区分2

生殖毒性:区分1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分1(呼吸器、肝臓、神経系、腎臓)

特定標的臓器毒性(単回ばく露):区分3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露):区分1(呼吸器、神経系)

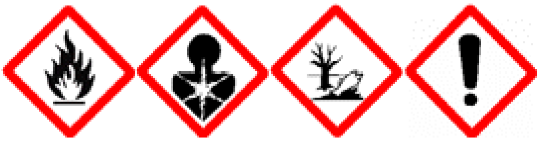
吸引性呼吸器有害性:区分1

環境有害性

水生環境有害性(急性):区分2

水生環境有害性(長期性):区分2

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報：　引火性液体及び蒸気

飲み込むと有害のおそれ（経口）

皮膚刺激

強い眼刺激

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害

眠気及びめまいのおそれ

長期又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害

飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に毒性

注意書き：　安全対策
使用前に取扱説明書を入手すること。
使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること
静電気放電や火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
応急措置
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：無理して吐かせないこと。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
保管
容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
廃棄
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

組成、成分情報

物質の特定

単一製品、混合物の区別：混合物
含有成分㈱

化学名	キシレン	アセトン
含有量	50%	50%
化学式	C8H10	C3H6O
官報公示整理番号		
（化審法）	(3)-3	(2)-542
（安衛法）	（安衛法）	
CAS番号	（キシレン異性体混合物）1330-20-7	67-64-1

注１）キシレン：o,m,p-キシレン異性体及びエチルベンゼン（キシレンと分子式が同一で、化学的また物理的性質がほぼ同一）の混合物

応急措置

吸入した場合　　：被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ

ること。
医師の手当、診断を受けること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに洗浄すること
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること

目に入った場合　：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

火災時の措置

消火剤　：小火災：二酸化炭素、粉末消火剤、散水、泡消火剤
大火災：散水、噴霧水、泡消火剤

使ってはならない消火剤：棒状注水

特有の危険有害性　：加熱により容器が爆発するおそれがある。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

漏出時の措置

緊急時措置　：関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項：河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収、中和　：少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。
大量の場合、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

二次災害の防止策　：すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

取扱い及び保管上の注意

技術的対策　：保護具を着用する。

局所排気・全体換気　：局所排気、全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項　：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
接触、吸入又は飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

保管　：保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
施錠して保管すること。

ばく露防止及び保護措置

管理濃度	：50ppm(キシレン)	500ppm(アセトン)
日本産業衛生学会	50ppm　217mg/m3	200ppm; 470mg/m3
ACGIH (2005年版)	TLV-TWA　100ppm	TWA: 250ppm
	TLV-STEL　150ppm	STEL: 500ppm

設備対策　：適切な防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。
洗眼器と安全シャワーを設置すること。

呼吸器の保護具　　　：適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具　　　　　：適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具　　　　　：適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：適切な顔面用の保護具を着用すること。
衛生対策　　　　　　：取扱い後はよく手を洗うこと。

物理的及び化学的性質

形状、色など　　　：無色液体
臭い　　　　　　　：特徴的な臭気
引火点　　　　　　：データなし
発火点　　　　　　：データなし
爆発限界　　　　　：データなし
沸点　　　　　　　：データなし
比　重　　　　　　：データなし
水溶解性　　　　　：非水溶性

安定性及び反応性

安定性　　　　　　：通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性：通常の条件では、危険有害な反応は起こらない。
強酸剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件　　：加熱。
危険有害な分解生成物：加熱分解により一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

有害性情報

急性毒性　　　　　：キシレン
経口　ラット　LD50　3500mg/kg 27
経口　ラット　LD50　4300mg/kg 33)
アセトン
ラット LD50=5800mg/kg
皮膚腐食性・刺激性　：皮膚刺激（区分2）
眼刺激性　　　　　：強い眼刺激（区分2A）
皮膚感作性　　　　：皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性　：ヒト経世代疫学で陰性
発がん性　　　　　：区分1B
（単回ばく露）　　：区分1（呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓）、区分3（麻酔作用）とした。
呼吸器、肝臓、中枢神経系、腎臓の障害（区分1）
眠気及びめまいのおそれ（区分3）
（反復ばく露）　　：分類は区分1（呼吸器、神経系）とした。
長期又は反復ばく露による呼吸器、神経系の障害（区分1）
吸引性呼吸器有害性：飲み込み、気道に侵入すると有害のおそれ（区分2）

環境影響情報

水生環境急性有害性　：ニジマス　LC50　3.3mg/L/96H 52)
水生生物に毒性（区分2）

水生環境慢性有害性　：急性毒性が区分2
長期的影響により水生生物に毒性（区分2）

廃棄上の注意

残余廃棄物　：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装　：容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

輸送上の注意

特別の安全対策　：危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。
輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

適用法規　消防法　：危険物第四類第２石油類（非水溶性液体）
（法第２条第７項危険物別表第１）

ＰＲＴＲ：第一種指定化学物質
（法第５７条２項、施行令規則第３５条第１の２第４号）
第一種指定化学物(キシレン1-80)
(エチルベンゼン1-53)

毒劇物取締法：非該当

労安衛法：名称等を表示すべき危険物及び有害物
（法第５７条の２、施行令１８条の２別表第９）
キシレン混合、エチルベンゼン、アセトン
名称等を表示すべき危険物及び有害物(施行令１８条)
キシレン混合、エチルベンゼン、アセトン
危険物・引火性の物
（施行令別表第１第４号）
第２種有機溶剤等
（施行令別表第６第の２・有機溶剤中毒予防規則第１条第１項第４号）
特定化学物質障害予防規則　特定化学物質　第2類物質　特定有機溶剤等(エチルベンゼン)

労働基準法:疾病化学物質
（法第７５条第２項、施行令規則第３５別表第1の２第４号）

化審法:キシレン(混合物)(政令番号125)エチルベンゼン(政令番号50)
アセトン

引用文献　化学品安全管理データブック 化学工業日報社
製品評価技術基盤機構　GHS分類
化学物質評価研究機構　化学物質ハザードデータ集
化学物質規制・管理実務便覧　新日本法規

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有毒性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。